

東区のこれからのまちづくり



令和3年8月 東区役所

1 熊本市の現況・東区の現況

2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性

3 まちづくりに向けた区の体制整備

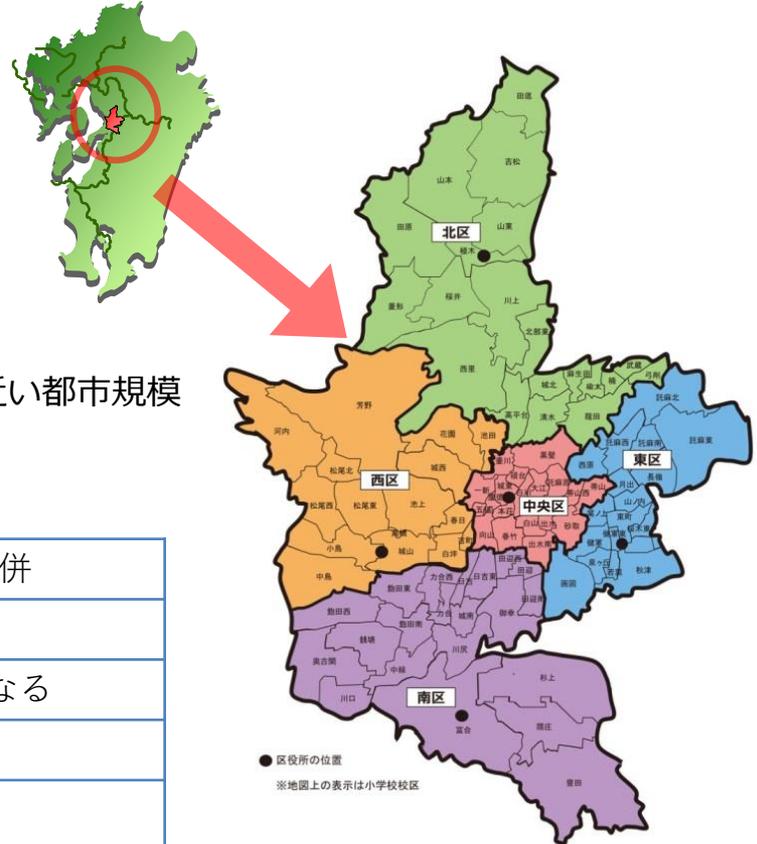
4 まちづくりの取組

5 最後に

1 熊本市の現況・東区の現況

① 熊本市の概要

- 人口：731,755人（349,543世帯）
※住民基本台帳人口 令和3年7月1日現在
- 面積：390.32 km²
- 人口密度：約1,880人/km²
※北九州市（約1,910人/km²）、京都市（約1,770人/km²）に近い都市規模



【熊本市の沿革】

平成 3年 2月	飽託郡4町（北部・河内・飽田・天明）と合併
平成 8年 4月	中核市へ移行
平成20年10月	下益城郡富合町と合併 人口が67万9千となる
平成21年 4月	市制施行120周年
平成22年 3月	下益城郡城南町、鹿本郡植木町と合併 人口が73万人となる
平成23年 3月	九州新幹線全線開業
平成24年 4月	政令指定都市へ移行
平成28年 4月	熊本地震
平成31年 4月	市制施行130周年

全国で20番目、
九州で3番目の
政令指定都市に

1 熊本市の現況・東区の現況

② 東区の概要

- ・人口：190,565人（88,145世帯）
※住民基本台帳人口 令和3年7月1日現在
- ・面積：50.19 km²
- ・人口密度：約3,800人/km²

【東区の特徴】

- 5区の中で最も人口が多い
- 商業施設や医療機関、福祉施設等が多い
- 託麻三山や運動公園、江津湖の自然が広がり、都市の利便性と自然とが調和した地域



1 熊本市の現況・東区の現況

③熊本市における総人口の長期的推移

- ・ 今後は、65歳以上人口が大幅に増加（約5万人増加：2015年→2050年）
- ・ 経済活動を支える15～64歳人口が大きく減少（約11万人減少：2015年→2050年）

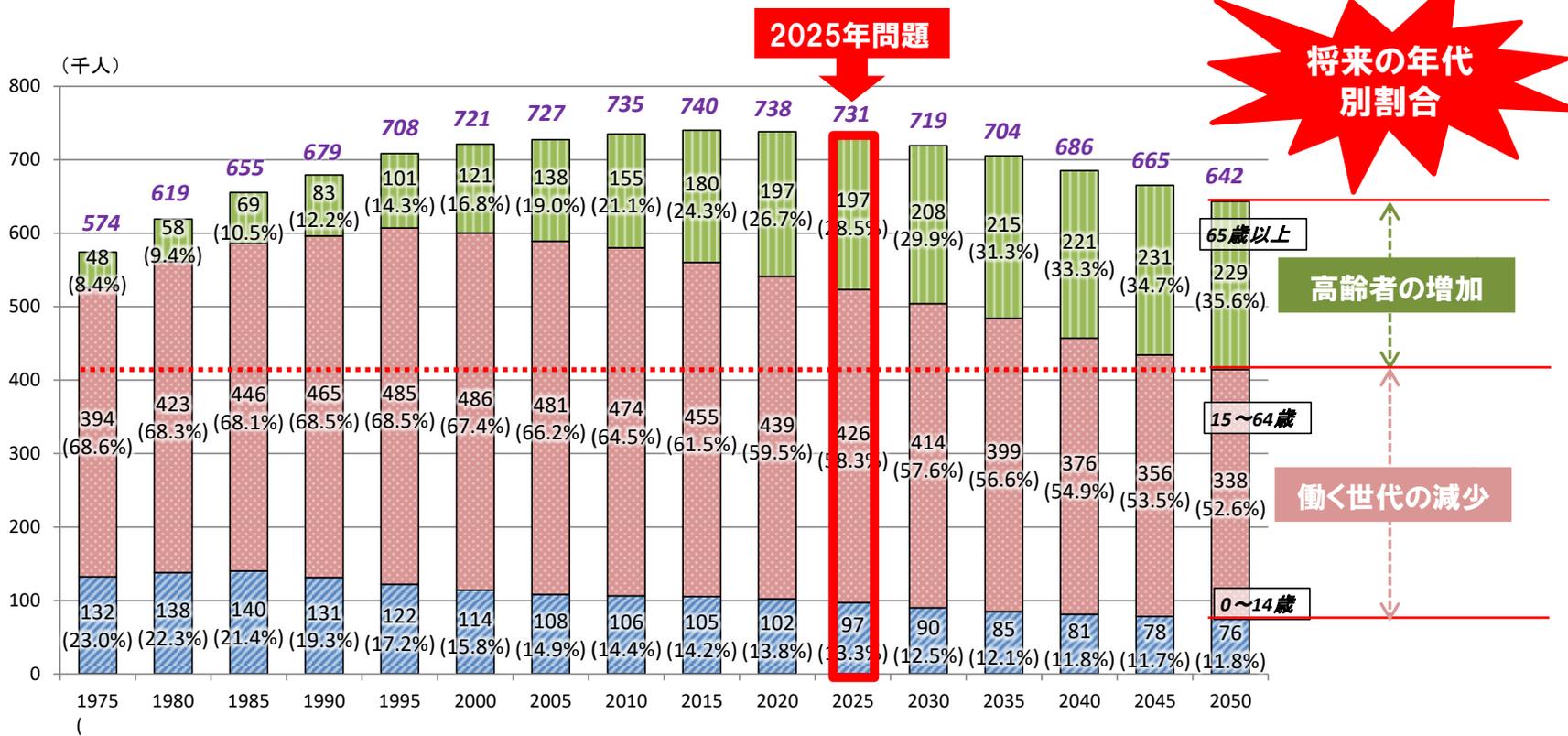


図 熊本市の将来人口推計

資料) 国勢調査及び熊本市人口ビジョン(趨勢のまま推移した場合の将来人口)

1 熊本市の現況・東区の現況

2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性

3 まちづくりに向けた区の体制整備

4 まちづくりの取組

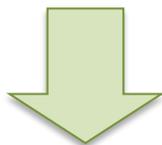
5 最後に

2 東区の考えるまちづくりのあり方・方向性

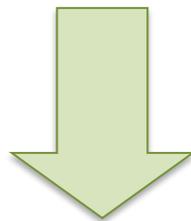
① なぜ、今、まちづくりなのか

熊本地震による被災

- 発災直後の行政の対応の限界
- 地域における助け合いの大切さの再認識



日頃からのつながりづくりの気運の高まり
地域における課題解決力強化の必要性の認識



自主自立のまちづくりへの支援強化

コロナによる地域活動の減少

少子化、超高齢化の進展

- 地域におけるまちづくりの担い手が不足
- 地域における人と人とのつながりが希薄化



地域コミュニティの機能（地域力）が低下し、
地域課題が未解決のまま放置される懸念



2 東区の考えるまちづくりのあり方・方向性

② 東区が考えるまちづくりのあり方

～ 自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区 ～

東区は、豊かな自然環境と快適でにぎわいのある住環境の中で、自然とふれあい、みんなの笑顔があふれ、活気に満ちた未来のあるまちを目指していきます。

(東区まちづくりビジョンより)

～ まちづくりの基本方針 ～

基本方針 1

人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち

基本方針 2

誰もが安全で安心して過ごせるまち

基本方針 3

誰もがいきいきと暮らせるまち

基本方針 4

美しい自然を守り育てふれあえるまち

基本方針 5

暮らしやすく活気あふれるまち

2 東区の考えるまちづくりのあり方・方向性

③ 令和3年度の取組方針

新型コロナウイルス感染症の影響により、新たに生じた地域課題や「新しい生活様式」を踏まえ、既存事業の抜本的な見直しを行うとともに、地域課題・地域ニーズへの支援強化を行い、コロナ禍においても地域が主体となった自主自立のまちづくりを停滞させることなく推進します。

令和3年度の重点的取組

- ◆ 地域活動の理解促進や課題解決への支援強化
- ◆ 住民同士・世代間の交流や支え合いのまちづくりの推進
- ◆ 地域防災・防犯力強化・向上のための支援
- ◆ 被災者支援

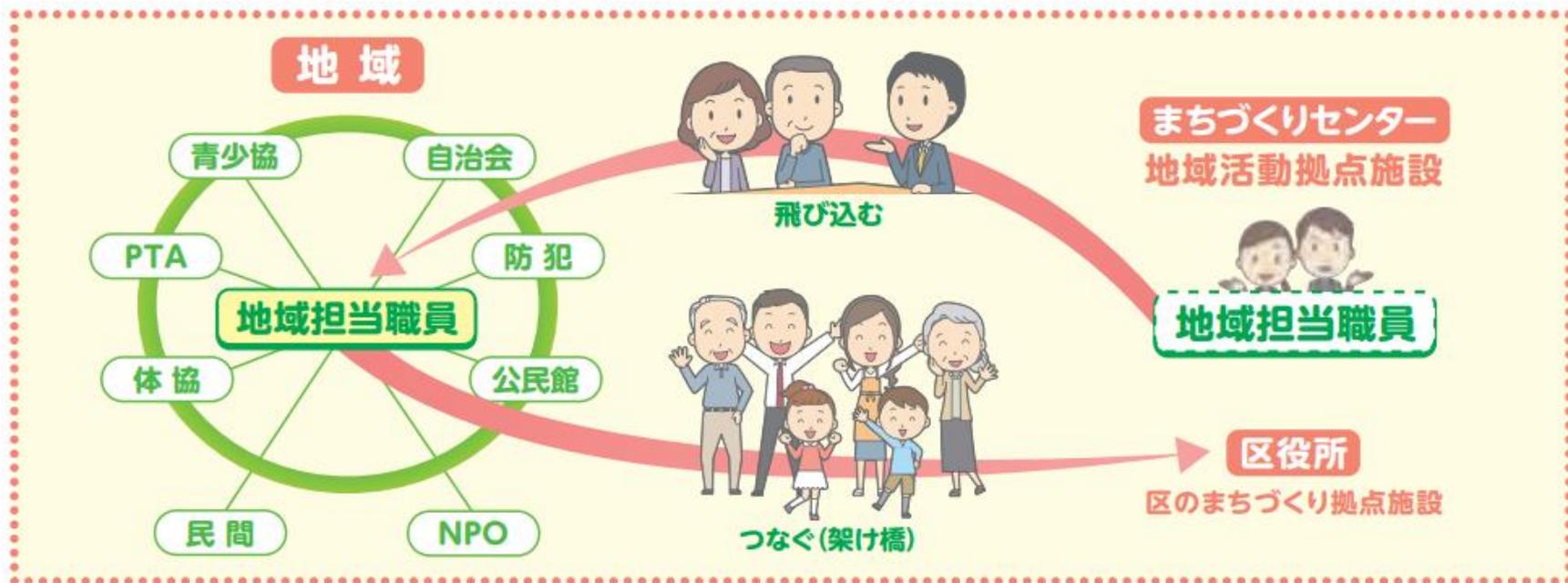
-
- 1 熊本市の現況・東区の現況
 - 2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性
 - 3 まちづくりに向けた区の体制整備**
 - 4 まちづくりの取組
 - 5 最後に

3 まちづくりに向けた区の体制整備

① まちづくりセンターの設置

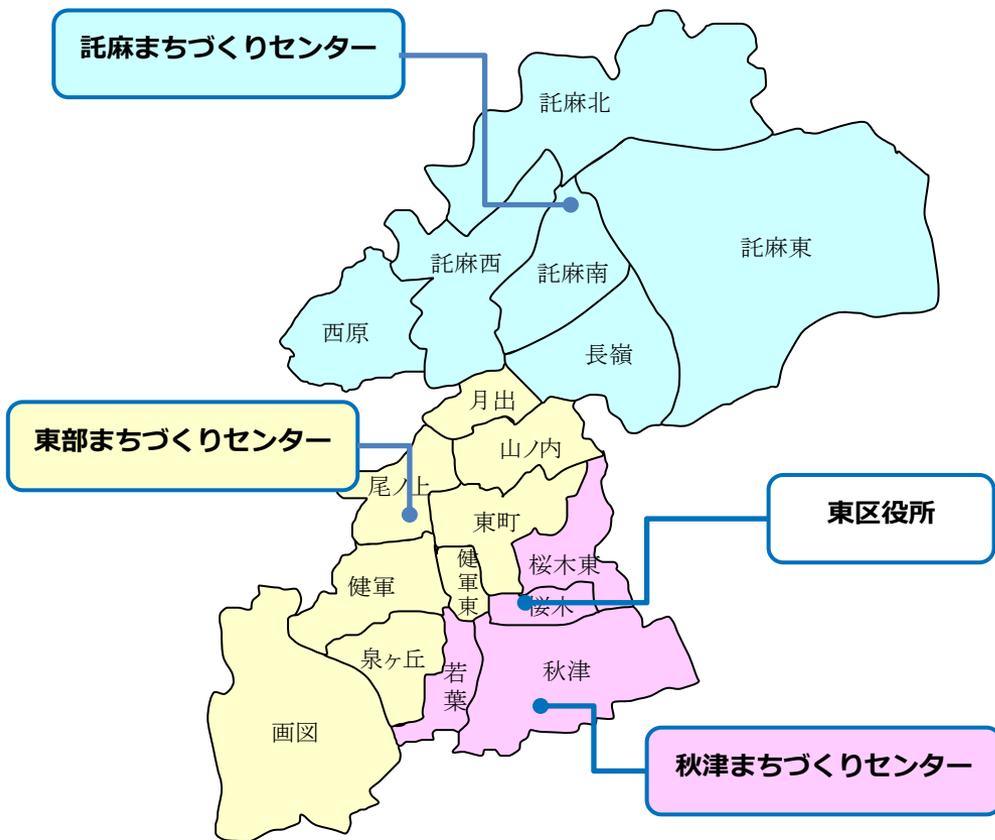
- ◆平成29年から市内17箇所の出張所や公民館などを「まちづくりセンター」として再編し、まちづくり支援専任の地域担当職員を配置
- ◆地域と行政が近い距離でまちづくりに関する支援を実施

✿ 地域の皆様と ✿
「協働のまちづくり」を目指します!



3 まちづくりに向けた区の体制整備

② 東区まちづくりセンターの概要



地域担当職員（令和3年度）

管内	校区	地域担当職員
託麻まちづくりセンター	託麻北	岡本 亮介
	託麻東	
	長嶺	上村 聡
	西原	
	託麻南	松村 悠
託麻西		
秋津まちづくりセンター	桜木	北口 万起
	桜木東	
	秋津	前田 朋子
	若葉	
東部まちづくりセンター	画図	小山 哲央
	健軍	
	尾ノ上	上坂 恭士
	東町	
	健軍東	黒木 紗希
	月出	
	泉ヶ丘	坂口 亮
	山ノ内	

地域の特性をいかした校区単位のまちづくりを推進

-
- 1 熊本市の現況・東区の現況
 - 2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性
 - 3 まちづくりに向けた区の体制整備
 - 4 まちづくりの取組
 - 5 最後に

4 まちづくりの取組

①令和3年度東区まちづくり推進経費

まちづくりの基本方針

予算額：19,000千円

基本方針1 【人と人がつながり、世代を越えて語り合えるまち】

地域コミュニティ活動への参加促進
地域団体の育成・支援
地域の歴史・文化の活用



基本方針2 【誰もが安全で安心して過ごせるまち】

防犯活動の推進
交通安全対策の推進
災害に強いまちづくり



基本方針3 【誰もがいきいきと暮らせるまち】

健康づくり活動の推進
子どもの育成環境づくり
みんなで助け合う福祉のまちづくり



基本方針4 【美しい自然を守り育てふれあえるまち】

地域自然の保全と活用
まちの美化活動の推進



基本方針5 【暮らしやすく活気あふれるまち】

地域に根ざした経済の活性化
生活環境の整備促進



No.	事業名	事業概要	予算額
1	地域の情報ネットワーク活性化支援事業	新しい生活様式に基づく地域活動が実践できるよう、ICT講座を開催するなど、地域活動におけるICT技術導入を推進する。	1,500
2	東区地域コミュニティづくり支援補助金	地域団体等が行う地域コミュニティの活性化や地域課題の解決に向けた取組に対して、活動費の一部を助成する。	3,700
3	東区民文化スポーツ交流事業	地域主体の文化やスポーツ交流の催しに対し、区長賞を提供する。また、地域間・世代間交流を目的に、地域と連携したスポーツ大会を実施する。	160
4	あさひばりビング(地域交流スペース)活用支援事業	あさひばりビング(地域交流スペース)において、市民先生によるワークショップを開催する。	420
5	地域活動理解促進事業	地域活動やPTA活動への理解・参加促進を図るため、小学校と連携し、新入学児とその保護者同士の交流の場づくりを行う。	180
6	サロン活動支援事業	サロン活動等の活性化を図るため、動画を活用した講座を開催する。また、サロン主催者と支援者をつなぐための情報誌を作成する。	870
7	安全安心のまちづくり事業	交通安全の意識向上を図るため、小・中学生への啓発グッズの配布や、自転車月間に高校生との協働による啓発活動を実施する。	400
8	ちよこっとパトロール	地域活動の参加促進と地域防犯力の向上を図るため、地域と連携した「ちよこっとパトロール」を実施する。	1,000
9	防災・減災啓発事業	住民一人一人の防災意識の向上を図るため、住民向けの防災知識や災害の備えに関する講座等を開催する。	1,400
10	地域防災合同訓練事業	住民の防災意識の向上と地域全体の災害対応力の強化を図るため、校区防災連絡会を主体とした実践的な防災訓練を実施する。	3,000
11	あさひばみんらの防災フェスタ開催経費	子どもから高齢者まで、防災に関する知識を楽しみながら学んでもらう防災講座や体験型ワークショップを開催する。	190
12	東区健康まちづくり推進員支援事業	地域における健康まちづくりの活動を推進するため、健康まちづくり推進員の活動支援やボランティア同士の交流の場づくりを行う。	500
13	食でつながる地域の環事業	地域で活動する子育て支援者のスキルアップ研修や「離乳食のすすめ方・レシピ」の作成を行う。	520
14	子育て支援ネットワーク活性化事業	区や校区単位の子育て支援ネットワーク活動や、地域の主体的な子育て支援活動への支援を行う。	340
15	地域ささえあい推進事業	認知症の人やその家族に対する理解と住民同士の支え合いを推進するため、認知症サポートリーダーの活動支援等を行う。	1,270
16	自然環境魅力向上事業	託麻三山の観光資源としての更なる知名度向上や地域の交流拠点としての利活用を促進するため、環境整備(案内板の設置)を行う。	-
17	(仮称)東区民まつり開催経費	地域活性化や住民が主体となったまちづくりを推進するため、地域と連携しながら(仮称)東区民まつりを開催する。	2,200
18	まちづくり懇話会開催経費	区民と区役所の協働によるまちづくりを推進するため、これからの東区のまちづくりについて、懇話会委員と意見交換を行う。	350
19	東区地域活性化支援事業	地域活性化や自主自立のまちづくりを推進するため、地域が主体となった課題解決への取組への支援をスピーディかつきめ細かに実施する。	1,000

4 まちづくりの取組 ②令和3年度東区復興支援自治推進経費

事業の概要

熊本市平成28年熊本地震復興基金を活用し、恒久住宅へ移行した被災者の新たなコミュニティ形成や地域での見守り、将来の災害に備えた地域の防災・減災の取組等の支援を行います。

【予算額合計】 1,700千円



熊本の今
～復興に向けた取組の状況～



1. 仮設住宅等入居者・退去者交流支援経費

仮設住宅等の入居者や退去者が、新たな生活環境で孤立することなく、互いに支え合えるコミュニティを形成するための交流会を開催する。

【予算額】 620千円



2. 校区防災連絡会・避難所運営委員会活動助成経費

校区防災連絡会・避難所運営委員会の活動等に対して、費用の一部を助成する。

※内訳：1避難所あたり3万円（東区内18校区36避難所分）

【予算額】 1,080千円



4 まちづくりの取組 ～ 事例紹介① ～

● 東区地域コミュニティづくり支援補助金

自主自立のまちづくりを推進するために東区内の地域課題の解決やコミュニティの活性化に向けた地域の取組に対して、費用の一部を助成しています。



東野カフェの様子（地域公民館を活用した高齢者や子どもなど地域住民への居場所と食事の提供）

● あさひばりビング（地域交流スペース）活用支援

子育て世代や高齢者・若者間で新たなコミュニティ形成を促し、地域活性化とまちづくりのアイデアを引き出すことを目的に、市民先生によるワークショップを開催しました。



地域交流スペース



ワークショップ開催の様子

※令和2年度はコロナ感染拡大防止のため中止

4 まちづくりの取組 ～ 事例紹介② ～

● ちょこっとパトロール

地域活動の参加促進と地域防犯力の向上を図るために、託麻6校区の地域団体と連携した「ちょこっとパトロール※」を実施しています。

※日常的にジョギングやウォーキングをしている方々に気軽にあいさつパトロールを行ってもらう取組



ちょこっとパトロールの様子

● 地域防災合同訓練事業

校区防災連絡会・避難所運営委員会を主体として、感染症対策を踏まえた避難所開設・運営訓練を実施しました。



秋津小学校での避難所開設・運営訓練の様子

4 まちづくりの取組 ～ 事例紹介③ ～

● 地域ささえあい推進事業

新型コロナウイルスまん延防止による外出自粛期間も、心身の機能低下を防ぐ生活・活動が続けられるよう、セルフチェックカレンダーを配布しました。

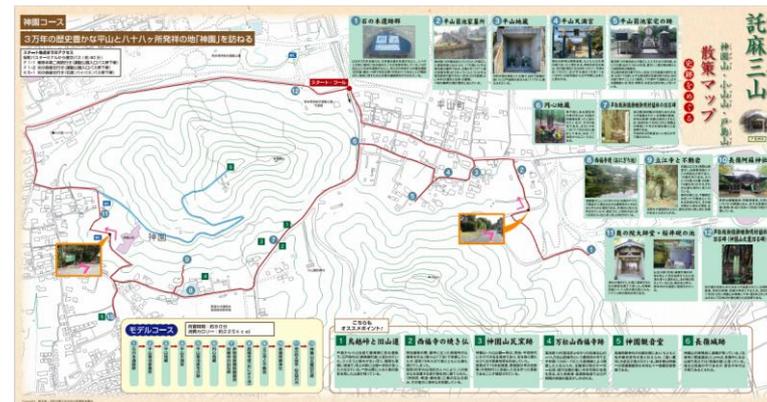


セルフチェックカレンダー

● 託麻三山散策マップの作成

託麻三山の観光資源としての更なる知名度向上や地域交流拠点としての利活用を促進するため、散策マップを作成しました。

託麻新四国八十八ヶ所巡りは、熊本市郷土文化財制度の第一号として認定されました！



託麻三山散策マップ

-
- 1 熊本市の現況・東区の現況
 - 2 東区を考えるまちづくりのあり方・方向性
 - 3 まちづくりに向けた区の体制整備
 - 4 まちづくりの取組
 - 5 最後に

5 最後に

東区では、区民の皆様の「こんなまちにしたい」という想いを実現するため、地域と区役所が積極的に協力・連携して地域の様々な課題解決に取り組むとともに、地域のコミュニティ機能を最大限に生かしたまちづくりを進め、区民の皆様が心から「このまちに住んでよかった」と思えるまちを築き、次の世代に引き継いでいけるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

ありがとうございました。